

2023年度 札幌地区バスケットボール協会 U12 部会
新型コロナウイルス感染症対策について（春季選手権 2023年5月版）

新型コロナウイルス感染症は、2023年5月8日付けで、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律上の5類感染症に移行しました。これに伴い、北海道バスケットボール協会は「新型コロナウイルス感染症ガイドライン第12号通知」(2023.05.08)を発出、また、日本バスケットボール協会は「5類感染症位置づけ変更後の基本的な感染対策について」(2023.05.12)を発出しました。これらを受けて、札幌地区バスケットボール協会 U12 部会では、春季選手権を開催するにあたり、「新型コロナウイルス感染症対策について」(春季選手権 2023年5月版)をまとめました。

1. 基本的感染防止対策について

健康チェック、手洗い・手指消毒、ディスタンスの確保、換気等は引き続き有用です。タオル、水分摂取のボトルなど個人で用いるものは区別して取り扱うようにしてください。

2. 「健康チェックシート」「参加者名簿」等について

従来の「健康チェックシート」「参加者名簿」提出は必要ありません。個人の体調管理、毎日の健康チェックは引き続き重要です。「健康チェックシート（あるいはそれに準ずるもの）」を個人で記載、保存し、体調不良時には所属チーム・団体へ報告できる準備をお願いします。

3. マスクの着用について

マスクの着用は個人の判断に委ねられます。感染の流行状況や活動場面に応じたマスク着用や咳エチケットの実施が求められます。活動中は熱中症などを考慮し、マスクを外すことが推奨されます。ただし、春季選手権で審判をされる場合は、レフェリーマスクとホイッスルカバーを着用してください。

4. 体調不良者の活動・事業への参加の可否について

体調不良者は無理をせず、活動に参加しないことが基本となります。体調不良時および発熱した場合、解熱後24時間以内は、参加を控えるよう推奨します。濃厚接触者関係での大会出場不可はありません。

5. 陽性者への対応について

陽性者本人は、療養を行い体調の回復に努めてください。発症後5日を経過し、かつ、症状が軽快した後1日を経過するまでを療養の基準とします。この期間の陽性者本人の大会出場はできません。また、発症から10日を経過するまでは、マスク着用を推奨します。チームの大会出場は差し支えありません。

6. 大会前の対外試合や交流活動について

特に制限はありません。感染の流行状況に応じて、活動の規模や会場について十分に留意ください。

7. 試合会場への入場制限について

試合会場へのチーム関係者(競技者、指導者、保護者、帯同審判員など)の入場制限はありません。ただし、小学校の体育館などそれぞれの事情がありますので、会場校の指示にしたがってください。また、チーム関係者であることが分かるよう、ライセンス証やチーム名のホルダーを身に付けるなど、対応をお願いします。提示がない場合は、入場をお断りする場合があります。

8. 大会(試合)参加後の健康チェックについて

大会参加後、24時間以内に体調不良者が出た場合は、札幌地区 U12 部会競技運営担当の赤尾までご連絡ください。(各ブロックの部会員やブロック代表を通じて連絡をいただいても可)

9. その他

事業等の実施には、引き続き基本的感染防止対策は感染の流行防止に有用です。また感染の流行状況によっては、開催時期の変更・中止、会場への入場制限などを行う場合があります。